



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

行動に信念を
信念は行動に

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒 880-02 佐土原町大字下田島9883番地1

TEL 0985-73-0015

BELIEVE IN WHAT YOU DO Do what you BELIEVE IN

1993.12.10 (金) 第297回例会
1. 点鐘
2. ロータリーソング「手に手つないで」
3. 会長の時間
4. 幹事報告
5. 各委員会報告
6. 会員卓話 正岡文郁君
7. 点鐘

第296回例会記録
(1993.12.3)

会長の時間 正岡文郁

皆さん今日は、本日は第296回例会です。
「忙中の忙と人の言う師走かな」という句がありますが、12月になると何となくお互い忙しい気分になります。

これを、「忙中閑あり」というゆとりの心境に転じたいものであります。

ところでこの時期が来ますと、私にはどうしても忘れられないことがあります。

それは「臘八の大接心」と言って、禪僧の一一番厳しい修行であります。毎年12月1日から8日の朝まで、全国の禪宗の道場で不眠不休の修行が行われます。12月を臘月と言いますから、「臘八」は12月8日のことです。臘尊が成道された日で、この日を記念して、12月1から8日の朝まで、精神を集中して坐禅に専念するのであります。私も約10回参加しました。

「臘八の大接心」の前夜(11月30日)に、「何時死んでもいいように、各自の荷物を整理

して、名札を付けて置くように」との訓示があります。実際に、不幸にも修行中に亡くなられた先輩もおられました。

毎日朝3時から夜11時まで坐禅をし、さらに石段などで夜坐をし、深夜2時間の消灯の間だけ坐睡(横になって寝ることは許されない)してもよいことになっています。入浴は勿論でできず、髪も髭も伸び放題です。

3日目頃が一番苦しく、4日を過ぎるとだんだん慣れて来て大分楽になります。

なぜこのような厳しい修行をするかといいますと、己を殺し、馬鹿になるためであります。

人間は、本当に窮した時、自分を殺すことによって生に転ずることができます。「大死一番、絶後に蘇る」の理念であります。

8日目の朝、最後の問答があり、ようやくお開きになります。一週間振りに入浴し、頭を剃り、髭を剃って、何とも言えないがすがしい気持になったことを今でも忘れません。

先週の例会終了後、理事会を開き、社会奉仕の植樹のこと、次年度の会長・幹事・会長エレクトの選任(今週報記載のとおり)について協議しました。次の全員協議会に結果をお詰りして決定したいと思います。

さて、今日は嬉しい報告があります。

先週の例会にオブザーバーとしてご出席いたきました『大野文化堂社長 大野高志君』が、正式に佐土原ロータリークラブに入会されることになりました。森田邦宏君、福井輝文君に統いて有能な少壮実業家をお迎えしますことは、本会の発展のため、慶ばしい限りでございます。

事務局 〒880-03 宮崎県宮崎郡佐土原町大字東上那珂17588-10 (有) 池田印刷所内 0985-74-0130

会長 正岡文郁・副会長 児玉武文・幹事 池田仁志・会計 郡司武俊・会報責任者 垂水敏雄

幹事報告 池田仁志

1. IM開催通知が来ております。
*高鍋RCがホストクラブ・西都RCがコ・
ホストクラブ
*平成6年2月13日(日)
*高鍋町中央公民館
*日程 9:30 受付・10:00 点鐘
10:50まで全体会
11:00~12:10 講演
「石井十次について」
13:10~15:00 分科会
第1 クラブ奉仕 例会の活性化
第2 社会奉仕 青少年の育成・活動
第3 職業奉仕 職業奉仕とボランティア
*負担金 3,000円×会員数
*登録期限 平成5年12月20日

出席報告 委員長 神宮寺利夫

会員数	18名
欠席者数	3名
HC出席者数	15名
メークアップ者数	1名
出席率	88.9%
欠席者名	齊藤・井下

ビジター
西都RC 尾崎公男君
〃 吉廣司郎君

社会奉仕委員会より 委員長 佐野保

佐土原町立久峰総合運動公園に佐土原RCの桜の並木を寄贈設置する計画を、先週の理事会で最終的に審議しました結果、次のような意向にまとまりましたので報告申し上げ、皆さんのご了承を得たいと思います。

『佐土原RCの寄贈した桜並木として存置するのであれば、まとまった箇所に植樹するようにしたい。桜樹の大きさ、本数及び寄贈方法については、町都市計画課と話し合いを詰めて決定したい。それによって植樹に要する経費も定まるが、当クラブの単年度予算で不足する場合は年次計画で植樹費を支出していくようにしたい。

ただ、町の久峰総合運動公園整備完了予定が

平成6年度末であるため、当クラブの桜樹植樹寄贈も同年度内に終了しなければならない。

このような事情から、平成6年度までは一般会計予算で植樹費を支出し、同年度末現在の植樹費不足分は一応特別会計から借入れて支払いを完了するようにしたい。特別会計借入金の償還は、平成7年度以降の一般会計に植樹費予算を計上して、年次計画で行うこととする。』

会員増強委員会より 委員長 藤堂孝一
新会員のご略歴を紹介いたします。

大野高志君

昭和17年12月18日生
本籍 佐土原町大字上田島1657番地
現住所 同上
学歴 昭36.3月 県立妻高等学校卒業
昭37.2月 福岡英数学館卒業
職歴 昭37.4月 鹿児島市 板山商事
入社 昭40.4月 大野文化堂社長就任
家族 妻・長男・長女
結婚日 昭44.10.26
趣味 ゴルフ・駄かけ・麻雀

正岡会長より佐土原ロータリークラブ会員バッジの贈呈が行われました。

大野高志君の入会挨拶

ロータリーのバッジを只今着けていただきまして、心が引き締まる思いがしました。

この度入会させていただくことになりましたが、今後とも皆様よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。実際の会員としての活動は来年1月からということでご了承願います。

親睦委員会より 副委員長 森田邦宏

12月セレモニーは、次の会員の方に会長より記念品を贈呈して、心から祝福申し上げます。
△誕生日祝 柳田光寛君
△結婚記念日祝 田村勝二君
〃 藤堂孝一君
〃 垂水敏雄君

上記の4名の方から多額のハッピーをいただきましたので、厚くお礼を申し上げます。